



# 心の足跡



## 道徳教育だより

令和4年12月23日

第7号

飯能市立原市場中学校  
発行: 学校長、道徳部会

## 道徳講演会

10月7日(金)にヒポファミリークラブ(言語交流研究所)をお招きして、「世界のことばに親しみ、広い世界への夢を持とう!」というねらいで道徳講演会を行いました。道徳は、平成29年度より「新しい教科 道徳」となり、24の内容項目が22となりました。その18番目に「他国のの人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること」という「国際理解、国際貢献」という項目があります。

本校では2年続けて、英語検定協会より「奨励賞」を受賞するなど、英語に対する意欲・関心が高まってきておりますので、とても良い機会であると思い、ヒポファミリークラブの方々に、今回の講演会を依頼しました。

また、今回は、ぜひ先生方にも民族衣装を着てほしいという要望がありましたので、右の写真のように、8名の先生方に民族衣装を着てもらいました。

校長も、メキシコの衣装を着て、参加しました。ちなみにニックネームは、「ビッグ ボス」で参加しました。

韓国のジャンケンをしたり、グループに分かれて、いろいろな国の話を聞かせてもらったり、高校の時にブラジルに留学した経験を話してもらったり、モンゴルの方が自国の紹介をしてくださったりと、盛りだくさんの内容でした。あっという間の2時間でした。以下に生徒の感想を何点か紹介します。

- 本日は、私たちに素敵な体験をさせていただき、ありがとうございました。私が一番心に残ったのは、だいごさんのアメリカでの話です。ホームステイに行った時の楽しい体験や驚くようなことなどたくさんのお話が聞けて、楽しかったです。中でも、ヤギの角を引っこ抜いた話にはとても驚きました。また、ゲームや歌などで外国語を聞くうちに、面白いな、かっこいいなと思いました。私も英語をしっかりと覚えられたら、第三言語を学んで見たいと思います。また機会があれば、世界のことをもっと教えてくださいとお嬉しいです。(ニックネーム: とおる)
- 今日の国際交流、すごく面白かったし、楽しかったです。話すだけではなく、ゲームもはさみながらやっていて全然飽きませんでした。アメリカの話を聞いて、一番印象に残った話は、遊園地のメリーゴーランドが、機械ではなく、本物の馬を使っていることにびっくりしました。またゲームをしたり、話を聞きたいです。今日はありがとうございました。(ニックネーム: ティ・ネィ)
- 今日はいろいろな国のことばを教えてください、ありがとうございました。私は英語が苦手なので、留学はしたくないと思っていました。しかし、今日みなさんが来て、あいさつをしてくれた時に世界にはたくさんのあいさつがあり、楽しそうだなと思いました。いつか色々な国のことばを覚えて、色々な国に行きたいです。今日は本当にありがとうございました。とても楽しかったです。(ニックネーム: ミーナ)
- 本日は忙しい中、私たちのために楽しい時間をくださってありがとうございました。他国についての話を聞いて印象に残ったことは、ニュージーランドにいる羊は、人口の約6倍の2400万匹いて驚いたことと、だいごさんの留学で20人くらいに囲まれて質問攻めをされていたという2つの話です。人口の6倍ほどの何か日本にも来たら面白いなあ、なんて思ったりしました。(ニックネーム: しらす)
- 今まで日本のことしかあまり分らなかったんですけど、今日、色々な国のことを知れたし様々なゲームもできてとても楽しかったです。グループでは、韓国のことをとても詳しく話して下さって、犬が韓国語じゃないと通じないと聞いて、私も犬を飼っていてとても大好きなので、すごく興味を持ちました。(ニックネーム: こっちゃん)



〈たくさんの民族衣装を着て、生徒を迎えています。〉



〈民族衣装を着て記念写真〉

<1年生の取組> 「いわれなき差別」(自作資料:副資料「ハンセン病の向こう側」厚生労働省)

(内容項目C-11 公正、公平、社会正義)

- 今日の授業で理不尽に差別されている人が大勢いることを知り、とても心が痛くなりました。そんな差別がない世の中になって欲しいなと思いました。
- 私は今回の授業でハンセン病について知りました。ハンセン病にかかろうとしてかかった人なんていないはずなのに、ハンセン病にかかってしまった人は「普通の人ではない。」と言う扱いをうけてきたということに驚きました。
- 今日の授業を受けて、これから先、まだまだ差別がある中で、どうやって差別をなくしていくかちゃんと考えたほうがいいと思います。そして見て見ぬふりをしないことが大切だと思います。
- 今日の話を聞いて、差別・偏見など改めて怖いと感じました。皆さんの話を聞いているだけで泣きそうになりました。自分はなっていないのに、差別されるのがひどいなと思いました。

<2年生の取組>「我、ここに生きる」(東京書籍:新しい道徳2)(内容項目 C-13 勤労)

- 十年後の自分は本当に後悔していないのか心配になりました。これからでも遅くないと思うので、色々なことに挑戦し、苦手なことも克服を少しずつ出来たらいいなと思いました。
- 10年後の自分はどうなっているか分からないけれど、自分に合った生活をしていけたらいいと思います。将来、どんなことをしているか分からないけれど、少しでもなんかやっていたらいいなと思いました。
- 十年後も今みたいに笑えるような人生を過ごすために1日1回は良いことをして毎日過ごしていきたいと思いました。
- 十年後の自分からのメッセージなんかで自分の人生決めたくないで今現在の自分が「今」を必死こいて生きていきたいと思いました。

<3年生の取組>

A組「言葉おしめ」(東京書籍:新しい道徳3)(内容項目 B-7 礼儀)

- 私もせっかくあいさつをしたのにスルーされた時などがあって、ショックを受けました。言葉を惜みず、あいさつしたり返事をしたり伝えていきたいなと思いました、たまに発表しようか惜しんだり、注意するのを惜しんだりしてしまうので、これからは言っていきたいなと思いました。
- ささいな返事やあいさつをするだけで、雰囲気か和らいたり、明るくなったりする。だから、ささいな返事やあいさつはとても大切だなと思いました。これからは、ささいなことでも感謝の気持ちを伝えるようにしたいです。
- 親しい人に対しては、言葉かけや気遣いを大切にしていたけれど、知らない他人にはあまり気にかけて無かった。他人だとしても不快な思いをさせないよう、配慮することも大事かもしれないと思った。
- 言葉を声に出すことは大切だと思いました。互いに言葉で伝えあうと周りの雰囲気が良くなり、その場の人も良い気持ちになる。

B組「二通の手紙」(東京書籍:新しい道徳3)(内容項目 C-10 遵法精神、公德心)

- 私はクラスの人の意見などを聞き、優しさだけがあればいいわけではないなあと感じました。「もしも」のことを考えて、行動したりしないと、問題が起きてからでは遅いので、しっかりとルールを守ることがとても大切だということを改めて感じることができました。
- 重要な規則やきまりは基本、どんな理由があったとしても守らないといけないことだと思うけれど、元さんの行動は理解できるから、難しいと思った。
- 誰かのためを思ってした行動でも、ルールを破ってまでしてしまうと、その後が大変になってしまうから、ルールは破らず、行動をすることが大切。1人の行動で、全体が悪く見えてしまうから、気を付けて行動する。
- 私もこのようなことがあったら、元さんのように入園を許してしまうかもしれないけれど、今回の授業を通して何でも情に任せて行動するのではなく、規則をしっかり守らせることも大切だということが分かりました。ですが、元さんが他の職員に伝えていなかったのは悪いと思いました。

<やまなみ学級の取組> 作文コンクール優秀作品「わたしの見つけた小さな幸せ」を読んで思ったことを発表しました。

○資料について 急性腎盂炎になった主人公が1カ月学校を休んだ体験をもとにした作文です。

Q:学校へ行けることになった朝、主人公はどんな気持ちになったでしょう。

- 命があるから学校へ行ける。友達とも遊べる。
- 友達と話をすることができてうれしい。
- 行きたかった学校へやっと行ける。学校へ行く途中に見つけた小さな花に、今まで気づかなかった幸せを感じた。